



いしかわ労福協

第 521 号 2011年6月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
 発行責任者 上田 弘志
 編集人 上野 貞彦
 〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
 電話 (076) 231-1737
 FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
 毎月1回 25日発行
 定 価 一部 20円
 昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

第49回通常総会にて 「ろうふくきょう・子育てネット(愛称)」 事業の実施を決定

石川労福協は、石川労福協第49回通常総会を5月27日(金)フレンドパーク石川ホールにおいて代議員ら関係者約70名の出席で開催した。

総会は、本田和雄副理事長が開会宣言、船塚俊克代議員(連合石川選出)の議長選出をして始まり、先ず、上田弘志理事長が「急進する少子高齢化、非正規雇用・低年収層・ワーキングプアなどの増加と日本経済・社会における課題が多い中、労福協は労働者福祉運動の中心として、人と暮らし、環境に優しい福祉社会の実現に向けて、新たな子育て支援策の『子育てネット』や『なんでも相談』、『就業支援』の事業にあたっていきたく、理解と協力を願う。」と挨拶した。



上田弘志理事長

続いて、来賓の手倉森一郎石川県労働企画課長、寺田孝金沢市労働政策課長補佐、民主党石川県連を代表して川裕一郎県議会議員、細野祐治社民党石川県連副幹事長から、それぞれ挨拶を受けるとともに、総会に宛てた祝電メッセージを披露して議事に移った。

議事では、2010年度における活動などが報告されたほか、2011年度活動方針では昨年度末まで実施した緊サポ事業の経験を踏まえて「労福協・子育て支援ネットワーク」事業を新設し、引き続き働く子育て世代の支援を行うことや、公益法人改革に伴う一般社団法人への移行

と関連した定款変更、財政方針など『暮らしの総合サポートセンター』としての機能充実に向けた提案がされ、提案どおり全議案満場一致で承認された。



手倉森一郎石川県労働企画課長



寺田孝金沢市労働政策課長補佐



民主党石川県連から川裕一郎県議会議員



社民党石川県連から細野祐治加賀市議会議員

議案審議後、この総会をもって退任する才田巖副理事長が「2004年5月に専務理事に就任して以来、今日まで、緊サポ事業、福祉なんでも相談事業、ジョブいしかわ事業を創設・展開して、労働者の福祉の向上に充実して努められた

と関連した定款変更、財政方針など『暮らしの総合サポートセンター』としての機能充実に向けた提案がされ、提案どおり全議案満場一致で承認された。

7年間であり、この間のご理解ご協力に深く感謝する。」と退任挨拶したのち、議長がスローガンを読み上げ、採択を確認した。



退任した才田巖前副理事長
7年間お疲れ様でした

最後に嶋垣利春副理事長が「議長の議事進行と代議員の真摯な議事対応に感謝する。」と閉会挨拶して総会を終了し、新事業の具現化に向けて2011年度のスタートを切った。

スローガン

メインスローガン

21世紀・人と暮らし環境に優しい福祉社会を実現しよう！

サブスローガン

1. 年金・医療・介護等の社会保障制度の改善を図り、「安心、安全な社会」をつくろう。
2. 労働組合と福祉事業団体の連携を強化し、「福祉ネットワーク」を充実させよう。
3. ライフ・サポートセンター活動を県内各地で展開し、地域貢献・社会貢献をめざして、社会的に価値ある「労福協運動」を展開しよう。

第1回理事会開催

労福協は、5月27日(金)の第49回通常総会終了後、第1回理事会を開催した。

理事会では、今年は、労働福祉事業団体の役員改選期にかかり、昨年末から7回の人事委員会によって確認された団体の役員候補の報告と提案がなされ、確認された。

総会で決定した主な事業

●子育てネット

○親子ふれあい事業

いも掘りやケーキ作り等各種イベントの開催

○ファミリーサポートセンター利用料金補助制度

☆共働き世帯の方…病(後)児預かり利用料金の半額を補助

☆働くひとり親世帯の方…預かり全般の利用料金の半額を補助

○生活お役立ち情報配信

子育てや日常生活に役立つ情報をお届け

●婚活支援

県内の未婚者に「出会いの場」を提供する。

●福祉なんでも相談

無料で、労働、金融、保険、介護、子育て、法律、クレサラ、消費生活における問題の相談を受け、問題解決に向けたアドバイスを行う。

●就業支援

無料職業紹介所「ジョブいしかわ」において、働く意欲のある人の就業の支援を行う。

中部会館協定期総会・研修会

中部労働福祉会館協議会(中部会館協)は、6月2日(木)滋賀県守山市の守山野洲市民交流プラザ Riseville 都賀山において、11会員の代表者等の出席により平成23年度定期総会を開催した。



田村会長

総会では、初めに田村恒夫中部会館協会長が「会員それぞれに事業の成功に向けた努力を積んできたが、東日本大震災からの全国的な自粛ムードが経営にも影響を及ぼしている。震災復興のためにもこの難関を乗り切るよう一層の努力が必要だ」と挨拶して始まり、提案された全議案を承認決定して閉幕した。

引き続き行われた役職員研修会では、長浜市学芸員の森岡榮一氏から「戦国時代を生きた女性たち 浅井三姉妹」をテーマにした講演と、翌3日(金)の資料館での説明を受け研修を終えた。

これからの行事予定

(6月20日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
7月7日	木	中央労福協第4回地方労福協会議 (～8日)	沖縄県
〃 29日	金	全労済石川 第2回代表者会議	労済会館
〃 30日	土	退職前セミナー	白山会場 白山市労働会館
〃 30日	土	退職前セミナー	小松会場 小松市民センター
8月4日	木	LSC 幹部研修会 (～5日)	和倉温泉
〃 7日	日	退職前セミナー	金沢会場 フレンドパーク石川
〃 25日	木	第12次友好訪中団 (～30日)	中国 蘇州市など

中央労福協「全国研究集会」

中央労福協は、6月9日(木)～10日(金)の日程で東京「新宿ワシントンホテル」において「2011年度全国研究集会」を開催した。

集会には、全国の地方労福協、各事業団体、連合から代表者等240名が集まり、冒頭、6月4日(土)に逝去した故笹森清中央労福協会長の冥福を祈った後、3月11日発生の東日本大震災被災者へのお見舞いが述べられ、各事業団体や各団体がどのような支援の取り組みをしているか、大震災を契機に私たちは何を考えるべきかをテーマに研修が進められ、遠藤幸男中央労福協副会長が主催者挨拶をした後、影山道幸福島県労福協会長が東日本大震災の現況報告と支援に対する御礼の挨拶があった。

初日は、東日本大震災の支援報告として、芳賀唯史日本生協連専務理事、池本修悟NPO事業サポートセンター専務理事、チャールズ・マクジルトン セカンドハーベストジャパン理事長からそれぞれ取り組み内容について報告された。次いで、大震災発生後の事業団体の取り組みとして、向井壽晴全労済常務理事、田中羊子労協連専務理事、鈴木英幸労金協会副理事長から事業団体が取り組んでいる内容について報告された。

2日目は、まず、根本崇千葉県野田市長が「パーソナルサポートの重要性と今後の課題」と題し、野田市が取り組むパーソナルサポート



中央労福協研究集会

サービス事業の内容説明と今後の展開について報告した。続いて、小島茂連合総合政策局総合局長が『働くことを軸とする安心社会』からの『災害復興・再生に向けた政策』の考え方』として、連合の災害復興・再生に向けた政策課題について基本的な考え方を報告した。最後に、哲学者の内山節立大学教授が「大震災が我々に突きつけたものは何か」との講演があり、研究集会を終えた。

なお、石川労福協から、上田弘志理事長(連合石川会長)、坂本哲治労信協理事長、松浦政雄北陸労金県本部主任専任役、長山良治全労済県本部事業推進部長、谷内英明県ライフ・サポートセンター事務局次長、宮下亮専務理事が研究集会に参加した。

石川労福協専務理事 宮下亮

海外支援米の苗を植える



食とみどり、水を守るいしかわネットワークは、5月28日(土)に金沢市牧山町の会員の水

田において、海外支援米となる水稲の田植えをした。

当日は、今にも雨が落ちそうな曇り空の中、田植えを体験する親子づれや会員、役員ら総勢約120名が参加し、一本一本丁寧に田植えを体験した。

中には、尻もちを着いて泥だらけになる子もいたり、賑やかなうちに田植えを終え、その後、会員が用意した焼きソバやメッタ汁、おにぎりにポップコーンを頬張り田植えの労を癒した。また、金沢市職員組合の方が行ったルームプレート作りでは、列を為すほどの人気で、子どもらは思い思いのプレート作りをして、楽しいひと時を過ごした。

総会・評議員会

石川労福協を構成する事業団体の総会や評議員会が開催された。また、この先、北陸労働金庫(6月24日(金))、石川県生協連(6月27日(月))、全労済石川県本部(7月29日(金))の総会、代表者会議が予定されている。

勤文協 第42回通常総会

6月2日(木)フレンドパーク石川



- 会 長 大樋長左衛門 顧問(工芸)
- 副 会 長 宮下 亮 労福協
- 〃 狩山 久弥 連合石川
- 事務局長 吉田 寿子 労福協
- 顧 問 水田 清風 書道
- 〃 下村 正一 日本画
- 〃 中川 宏治 写真
- 〃 内島 一郎 写真
- 〃 飯田 雪峰 工芸
- 〃 杉村雄二郎 洋画

消 団 連 2011 年度総会

6月6日(月)フレンドパーク石川



- 代表幹事 宮下 亮 労福協
- 副代表幹事 宮下登詩子 i 女性会議石川
- 〃 津野 忠司 連合石川
- 〃 日比千恵子 金沢・くらしを考える会
- 〃 富瀬 永 食みどり・水を結ぶ川・林ネットワーク
- 〃 脇坂 喜文 生協連
- 事務局長 青海万里子 生協連

さわやかU 第11回通常総会

6月20日(月)労済会館



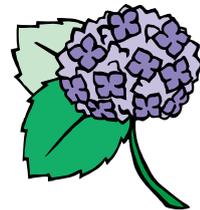
- 理 事 長 澤 信俊 金沢星稜大学
- 副理事長 上田 弘志 労福協
- 〃 嶋垣 利春 労金石川県本部
- 〃 本田 和雄 全労済石川県本部
- 〃 田村 隆三 連合石川
- 〃 北尾 強也 連合石川法曹団
- 〃 長澤 博 退職者連合
- 事務局長 宅本 門示 連合石川
- 事務局次長 上野 貞彦 労福協

労 信 協 第44回定期評議員会

6月21日(火)フレンドパーク石川



- 会 長 坂本 哲治 労福協
- 専務理事 奥村 寛道 労福協



勤 体 協 第44回定期総会

6月3日(金)フレンドパーク石川



- 会 長 中谷 喜和 前石川県議会議員
- 副 会 長 宮下 亮 労福協
- 〃 船塚 俊克 連合石川
- 〃 長澤 博 勤体協
- 〃 松原 秋夫 〃
- 〃 南 芳晴 〃
- 〃 竹田なを美 〃
- 事務局長 中野 俊一 勤体協

金 沢 L S C

海岸をきれいに!



金沢地域ライフ・サポートセンターは、5月29日(日)午前7時に金沢市佐奇森の海岸にて行う「クリーン・ビーチいしかわ」実行委員会主催の海岸清掃に連合かなざわと合同で20人が参加した。

今年は昨年より多くのゴミや流木などが散乱していたが、人海戦術により、またたく間にキレイな砂浜によみがえることができ、僅かだが環境整備に貢献できたことと思う。

事務局次長 吉田寿子



各地域ライフ・サポートセンター総会

白山・野々市 LSC

5月17日(火)白山市労働会館
 会 長 油 省三 全労済運営委員会
 副 会 長 上本 一之 労金友の会
 〃 嶋田 大哲 連合地協(アイテックス)
 事務局長 福村 滋 連合地協(石川製作所)
 事務局次長 田爪 健士 全労済
 〃 宮坂 信詞 労金松任支店

金 沢 LSC

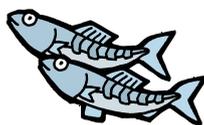
5月27日(金)フレンドパーク石川
 会 長 綿 征一 退職者組織
 会長代行 曾谷 修 連合かなざわ
 副 会 長 上生外喜治 退職者組織
 〃 長田美智子 退職者組織
 〃 柚木 稔 連合かなざわ
 〃 浅野 正 連合かなざわ
 事務局長 谷内 英明 県 LSC
 事務局次長 宅本 門示 連合かなざわ
 〃 間野あけみ 連合かなざわ
 〃 安村 裕之 労金本店
 〃 北井 道夫 労金南支店
 〃 安村(兼務) 労金西支店
 〃 奥村 賢志 労金県庁出張所
 〃 杉安 晋一 全労済
 〃 吉田 寿子 県 LSC

加 賀 LSC

5月31日(火)加賀地区労働会館
 会 長 山本 哲朗 JAM大同テクノ労組
 副 会 長 黒谷 治夫 連合かが地協(JAM大同工業労組)
 〃 野崎 克人 JAM江沼チェン労組
 〃 山井 聡 加賀市教職員組合
 〃 相木 勇進 労金友の会
 〃 中村 栄一 JAM大同工業労組
 事務局長 河野 真弘 JAM月星製作所労組
 事務局次長 川上 嘉雄 労金大聖寺支店
 〃 中嶋 文男 NTT 退職者の会
 〃 太田 敏信 全労済石川県本部

七尾・鹿島 LSC

6月1日(水)七尾鹿島労働福祉会館
 会 長 野田 昭一 ろうきん友の会・林ベニヤ労組 OB
 副 会 長 佐藤 喜典 連合石川七尾羽咋地域協議会・七尾市職労
 〃 森 憲一 七尾鹿島地区平和運動センター・全港清
 〃 山本 志信 七尾鹿島地区友愛連絡会・JR 西労組
 事務局長 井村 幸喜 連合七尾羽咋地協・七尾南職労
 事務局次長 吉岡 宏泰 労金七尾支店
 〃 見木 友治 全労済石川県本部



河 北 LSC

6月1日(水)サンライフ津幡
 参 与 前後 和雄 津幡町勤労協
 会 長 釜井 誠次 かほく市勤労協
 副 会 長 徳本 喜彰 連合かなざわ(河北)
 〃 森山 博明 津幡町勤労協
 〃 角田 和嘉 内灘町勤労協
 事務局長 安江 秀和 内灘町勤労協
 事務局次長 橋場 伸一 労金本店

珠洲・能登 LSC

6月2日(木)ラブロ恋路
 会 長 宮藤 祐健 連合石川能登地協(石川サンケン)
 副 会 長 本間 清治 労金友の会
 〃 谷内 辰広 県教組能登珠洲(労金地域推進委員会)
 事務局長 加藤 政道 労金友の会(全労済地区推進委員)
 事務局次長 稲葉 一浩 労金珠洲支店
 〃 見木 友治 全労済

羽 咋 LSC

6月9日(木)羽咋労働会館
 会 長 西井 健一 羽咋市職
 副 会 長 辻口 一男 ホクリク鑄鉄
 〃 山田 吉博 創和テキスタイル
 〃 藤井 敬一 北鉄 OB
 事務局長 上田 清春 労金 OB
 事務局次長 藤岡 敏則 労金羽咋支店

小松・能美 LSC

木場潟一周健康ウォーク

6月5日(日)第10回目の「木場潟一周健康ウォーク」が開催され、当日は天候にも恵まれ、413名の参加があった。

はじめに庭田会長が「開始以来10年間1度も延期や中止がない」と挨拶したあと、小松市体育協会の堂前恵指導員からストレッチ運動とラジオ体操の指導を受け、1周6.4kmを歩いた。



初夏の爽やかな日差しの中、歩を進める参加者

ウォーク終了後の食事タイムでは、参加賞で配布されたお寿司と模擬店でのお寿司と模擬店でのチケット交換によるめった汁で昼食をとった後、労金・全労済・コー

プの協賛によるお楽しみ抽選会を行い、盛大に終了した。

小松能美地域 LSC
事務局 蔦千栄子

勤 体 協

第44回県勤労者夏季ソフトボール小松大会
 (6月19日)小松市スカイパークこまつ翼
 ①黒龍軒 ②コマテック ③浅井栄春堂 A ④浅井栄春堂 B ⑤ SODA

勤文協 メーデー協賛「写真サロン・フローラルアート展」が開幕

勤文協(石川県勤労者文化協会)は、6月2日(木)に第82回石川県統一メーデー協賛の「第43回勤労者写真サロン・フローラルアート展」をラブロ片町(金沢市)7Fのアートシアターいしかわで開催し、多くの鑑賞者が来場し賑わった。

また、最終日に行われた審査員の合評では、多くの出品者が興味深く目と耳を傾けていた。なお、出品された写真については、この会場のほか、県内6会場において巡回展示される。



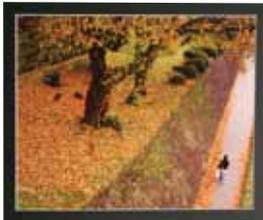
勤文協会長賞
元木 千明(金沢市)



加賀市長賞
廣瀬美和子(金沢市)



金賞
森川 純子(金沢市)



金沢市長賞
宮西 清紀(七尾市)



西村 俊明(金沢市)
白山市長賞



七尾市長賞
城村 政子(かほく市)



能美市長賞
兼保 里美(津幡町)



銀賞
辰野佐陽子(金沢市)



荒川 芳男(金沢市)
小松市長賞



山下 静子(金沢市)
北國新聞社長賞



輪島市長賞
米田 健二(金沢市)



第82回石川県メーデー賞
一明 政行(金沢市)



銅賞
森 敦子(金沢市)

働くお父さん、お母さんを応援します！

随時会員募集中！

労福協・子育て支援ネットワーク

(愛称：ろうふくきょう・子育てネット)



親子
ふれあい事業

いも掘りやケーキ作り等
各種イベント



ファミリー
サポートセンター
利用料金補助制度



生活お役立ち
情報配信

子育てや日常生活に
役立つ情報をお届け

石川県にお住まいの子育て世代の方なら どなたでも入会OK！！
お申込・お問い合わせは ☎ 076-264-4699まで

ファミリーサポートセンター利用料金補助制度

■利用できる方

石川県内のファミリーサポートセンターに
依頼会員(おねがい会員、援助依頼会員、利用会
員を含む)として登録されている方で、

A. 共働き世帯の方

B. 働くひとり親世帯の方

■補助の内容

A 共働き
世帯の方

病(後)児預かり利用料金の
半額を補助します。

B 働くひとり親
世帯の方

預かり全般の利用料金の
半額を補助します。

*詳細は裏面注意事項をご覧ください。

「ファミリーサポートセンター利用料金補助制度」お申し込み方法

1. ファミリーサポートセンターへの登録が必要です。

 県内各市町のファミリーサポートセンターの会員の方が対象です。
まずは、お住まいの市町のファミリーサポートセンターへ依頼会員の登録をしてからお申し込みください。

ファミリーサポートセンターとは？



育児の援助を受けたい方と
育児の援助をしたい方が
それぞれ会員として登録し、
子育ての相互援助活動を行う
組織です。

ファミリーサポートセンターは各市町にあります。

各市町のファミリーサポートセンター

金沢市	076-243-3410	川北町	076-277-1111
七尾市	0767-52-1476	野々市町	076-248-4634
小松市	0761-44-5772	津幡町	076-288-6276
輪島市	0768-22-8031	内灘町	076-238-3233
珠洲市	0768-82-5479	志賀町	0767-32-9122
加賀市	0761-78-4747	宝達志水町	0767-29-8120
羽咋市	0767-22-0066	中能登町	0767-72-3134
かほく市	076-281-3582	穴水町	0768-52-3220
白山市	076-274-1592	能登町	0768-72-2512
能美市	0761-55-0433		

該当するセンターにお電話ください

2. 利用補助制度のお申し込み



「ろうふくきょう・子育てネット」までお電話ください。

ろうふくきょう・子育てネット ☎(076) 264-4699 10:00~16:00
(土日祝はお休みです)

☆ろうふくきょう・子育てネットより申込書等を送付します。

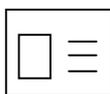
3. 申込書の郵送



申込書 及び 付属書類を作成の上、お送りください。
(ひとり親世帯の方は、住民票も必ず添付してください。)

※世帯全員が記載されている3ヶ月以内のもの

4. 会員証の送付



届きました、書類の内容を確認し、
会員証を会員住所に送付します。

5. 補助スタート



登録の翌月のファミリーサポートセンター
利用分から補助の対象となります。



●注意事項

- ・会員がファミリーサポートセンターを利用した際の利用料金（報酬、利用料、サポート料を含む）の半額を補助します。但し、交通費、食費、キャンセル料等は除きます。また、各市町のファミサポ利用補助制度がある場合、補助額が変更になることがあります。
- ・当制度の利用補助額は、子ども一人あたり年間17,500円までです。（4月1日～3月31日）
- ・北陸労働金庫の普通預金の口座（申込者本人または配偶者名義）が必要です。